



Buddycomにより労働環境を改善 サービス品質とお客様満足度が向上

有料老人ホームにおける事務所と介護スタッフ間の情報共有にBuddycomを活用しています。ボタン1つで複数のスタッフと同時に通話でき、受付対応・ケアマネジャーからの発信・ご家族の来訪対応・お風呂介助など、さまざまな場面で使用しています。

従来、ホーム内の連絡手段はPHSの内線機能に限られていました。看護師が他の業務で忙しく内線にすぐ応答できないことも多く、緊急対応が必要な場面で連絡がつかず、対応が遅れたりご入居者様をお待たせしたりすることが度々ありました。

導入の決め手となったのは、現場スタッフの声でした。トライアル時に「**すぐに相談できる**」「**スタッフを探さなくてよい**」「**ご入居者様をお待たせしなくてよい**」「**他のホームにも早く導入すべき**」といったポジティブな意見が寄せられたことが後押しとなりました。

導入後は**情報伝達の即時性が向上してスタッフの労働環境が改善**し、緊急時の対応も迅速に。**ご入居者様・ご家族様からの不満や苦情が減少**するなど、サービス品質とお客様満足度の向上につながっています。



ハンズフリーで業務効率が向上 事務所と介護スタッフ間の情報共有を円滑に

主な使用機能



グループ通話



通話履歴の再生



画像の送受信



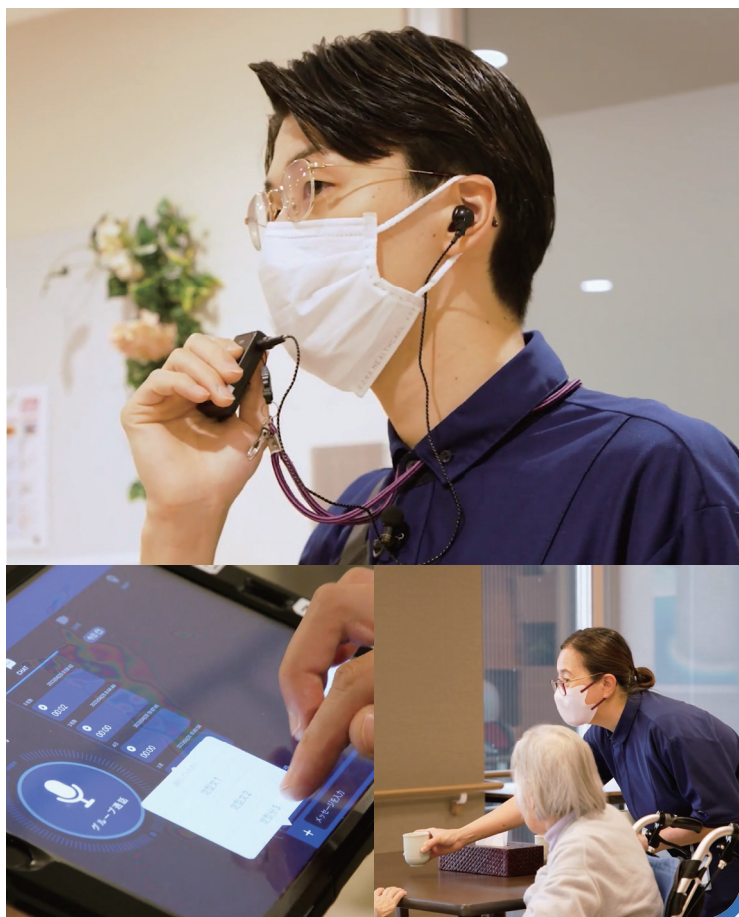
定型文の送信

ハンズフリーで多職種がつながり、 現場のDXを推進

ボタン1つで複数のスタッフと通話でき、情報伝達の即時性が向上しました。介助中もiPadを近くに置いたまま使え、イヤホン部分は交換可能なため各スタッフが衛生的に利用できます。「勤務終了10分前です。終業準備に取り掛かってください」といった定型文を音声で流し、定時退勤を促すホームもあり、現場向けの機能が時間のない現場のDXにつながっています。

「介護ロボット導入補助金」の適用で コスト面も後押し

コスト面では、多くの自治体で「介護ロボット導入補助金」の適用を受けられたことも導入の後押しとなりました。見守り機器・インカム・Wi-Fi構築コストの約4分の3が補助され、Buddycomのアプリ利用料は半額ほど、一部ホームでは周辺機器のBbradio2/MKI-P3が全額補助されました。



導入前の課題

- ホーム内の連絡手段がPHSの内線機能に限られていた
- 看護師が他の業務で忙しく、内線にすぐ応答できないことが多かった
- 緊急対応時に連絡がつかず、対応が遅れたりご入居者様をお待たせしたりしていた

ご担当者からのメッセージ



Buddycomの導入により、スタッフのコミュニケーションが劇的に改善され、サービスの質が向上しました。緊急時や外出中でも即時対応が可能となり、ご入居者様やご家族様の安心にもつながりました。是非皆様にもBuddycomの導入をお勧めします。



株式会社サイエンスアーツ

東証グロース:4412

www.buddycom.net